

2025年賃金改善、夏季一時金並びに労働条件等の改正に関する第1回団体交渉

- ◆今交渉は主張交渉と位置付け、要求趣旨を再度会社に伝えるとともに、職場集会やアンケートで寄せられた組合員のみなさんの声を主張しました。
- ◆会社回答決定前に“より検討”を促すため、職場意見を中心とした主張をおこないました。

《第1回団体交渉における主張点（一部抜粋）》

《賃金改善（ベースアップ）に関する要求》

- 要求内容の補足説明をおこなうとともに、「全体の底上げと各等級の役割に応じた公平性の両立を求めている」こと、「定期昇給がない従業員であっても、長年にわたり会社を支えてきた貢献に対する適切な評価を求めている」ということについて主張しました。

《夏季一時金に関する要求》

- 要求内容の補足説明をおこなうとともに、一人ひとりがさまざまな創意工夫を凝らし、売上・利益の向上に努めてきた結果、損益計画を達成する見込みであることから、2024年度の会社業績に対する正当な分配を求めていると主張しました。

《労働条件等の改正に関する要求》

- 要求に掲げている5つの要求について補足説明をおこなうとともに、職場の声を主張しました。

《各職場における努力・頑張り》

- 「廃棄削減や作業効率化など、日々業務改善に取り組んできました」「ゾーンリニューアルや什器変更にも現場で対応・設営をおこなってきました」「繁忙時の積極的な支援など、エリア室、運営室、支店、本社等、一丸となって売上確保に努めてきました」など、職場の努力・頑張りについて主張しました。

次回の第2回団体交渉では、従業員の生活水準の維持・向上と、将来に向けた優秀な人材の確保のため、そして、これまでの努力・頑張りに報い、今後もJR-Crossで働きがいを感じながら働き続けることができる回答が示されることを切望している旨を会社に主張しました。

《会社の現状認識・交渉の基本的スタンス・考え方》

組合 検討にあたっての現状認識や、今交渉の要求に対する基本的なスタンスや考えについてうかがいたい。

会社 会社としては、貴組合からの要求、組合員の皆さんからあげられたご意見に答えるべく、一生懸命検討しています。昨年度決算はまだ確定していませんが、ここまで会社業績を上げられたことは、本当に皆さん一人ひとりの力によるものです。会社としては、これまでの回答と同様に、どれだけの対応ができるかということをベースに考えています。

組合 回答するうえで、原資となるのは会社業績であると理解していますので、2024年度通期決算が確定することが前提になると思いますが、いつ頃、要求に対する回答を示していただけるのか、具体的な時期を確認したい。

会社 賃金改善と一時金についての回答を優先的に進め、昨年度の決算数値確定後、速やかに回答できるように進めていきたいと思っています。

組合 私どもとしては、労使双方が納得のうえで早期に交渉を終え、2025年度事業計画に掲げられた各種施策の取り組みを加速させるべきであると考えていますので、決算数値確定後には、可能な限り早期に回答を示していただきたい。

- ✓ 引き続き交渉経過にご注目ください。
- ✓ 第2回団体交渉日時については、**4月24日（木）16:00～**と決定しました。
- ✓ 2025年春季生活闘争に関する情報は、特設ページにて順次更新していきます！▶▶▶

